

平成19年度

決算公表

平成19年度の鹿沼市の決算を公表します。決算の公表は、市民のみなさんが納めた大切な税金や国・県からの補助金などのお金が、どのくらい入ってきたのか、またどのように使われているのかを知っていただくために行っています。

財政課財政係
☎(63)2151

一般会計の決算

歳出 合計375億8,516万円

歳入 合計384億 842万円

民生費 児童福祉や生活保護費などの福祉事業費	83億7,269万円	22.3%
総務費 職員の人件費や庁舎管理、広報かめまの印刷費など	61億4,657万円	16.4%
土木費 市道の建設・維持管理や区画整理事業費など	51億7,282万円	13.8%
公債費 借入金の返済に充てるお金	43億2,877万円	11.5%
教育費 小中学校や図書館、美術館の管理費など	40億9,289万円	10.9%
衛生費 健康づくりに関わる費用やごみ処理費など	34億3,341万円	9.1%
商工費 中小企業への融資や各種イベントに関わる費用など	28億4,766万円	7.5%
その他 消防費や議会費など	31億9,035万円	8.5%

自主財源	市税 市市民税や固定資産税など	154億 927万円	40.1%
	使用料・手数料など 市営住宅使用料やごみ処理手数料など	16億8,774万円	4.4%
	諸収入 給食費や市有地売払収入など	55億4,742万円	14.5%
	交付金など 国や県に納めた税金(地方消費税交付金など)の一部が、一定のルールで交付されます	23億3,678万円	6.1%
依存財源	地方交付税 どの地域でも一定の行政サービスを提供できるように、市で不足するお金が交付されます	47億2,193万円	12.3%
	国・県支出金 区画整理事業や学校建設に伴う補助金など	60億3,938万円	15.7%
	市債 大規模な事業を行うときの借入金	26億6,590万円	6.9%

市民1人当たりに使われたお金
361,949円

市民1人当たりが負担した市税
148,393円

※市の歳出のうち、その支出が義務付けられ任意に節約できない「人件費」「扶助費」「公債費」をいいます。この比率が低いほど、柔軟に市民のニーズを反映した政策に使うことのできる経費が多くなります。



西中学校屋内運動場改築事業費
4億1,822万円



貝島西土地区画整理事業費
6億4,080万円



バス路線対策費
1億7,214万円



新鹿沼駅西土地区画整理事業費
5億2,020万円

主なお金の使いみち
鹿沼市の^{*}義務的経費比率は48.0%で、前年度と比べると24%増加しました。こうした限られた財源を適正かつ有効に活用し、様々な事業に取り組みました。

特別会計の決算

特別会計は、特定の目的を持った事業や特定の収入によって特定の支出に充てるなど、一般の収入や支出と区別して個別に経理しています。

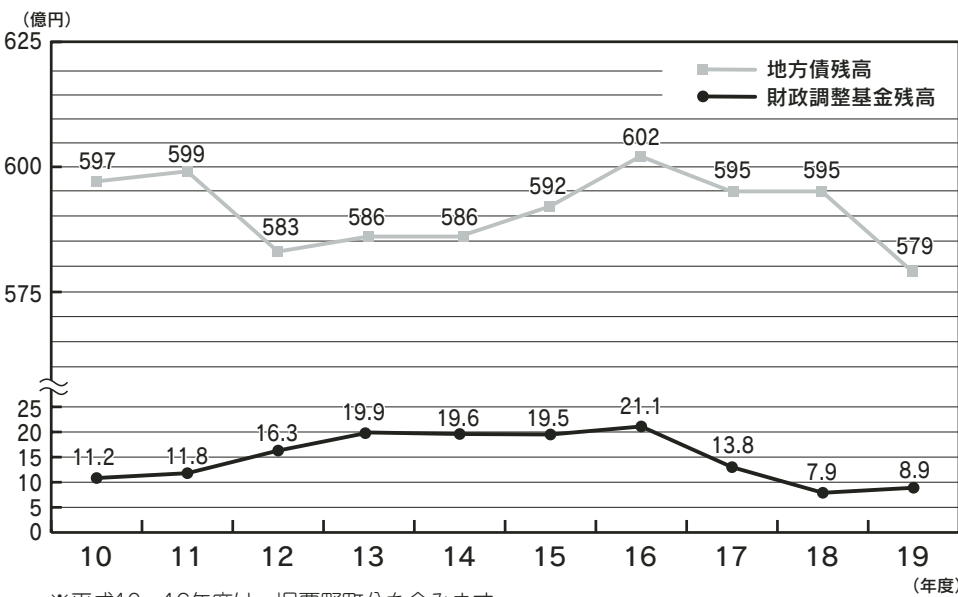
会計名	歳入	歳出
国民健康保険	102億7,374万円	101億 213万円
公共下水道事業費	38億6,481万円	38億3,735万円
簡易水道事業費	3億2,946万円	3億2,259万円
公設地方卸売市場事業費	1,941万円	1,874万円
見笹霊園事業費	1億4,050万円	8,367万円
老人保健	81億2,412万円	81億1,195万円
農業集落排水事業費	5億4,043万円	5億1,750万円
介護保険（保険勘定）	51億7,879万円	49億8,584万円
介護保険（サービス勘定）	2,252万円	1,739万円
財産区管理会	401万円	368万円
合計	284億9,779万円 (前年比6.6%増)	280億 84万円 (前年比7.7%増)

水道事業会計の決算

水道事業会計は、上水道管理運営のための会計で、独立採算制をとっています。

収益的収支 (維持管理費)	収入	13億 145万円
	支出	10億5,672万円
資本的収支 (設備投資費)	収入	4億7,346万円
	支出	11億 607万円

※資本的支出は、配水管新設工事や企業債の線上償還により増加しました。



決算規模

歳入は384億842万円、歳出は375億8,516万円で、前年度と比較すると歳入は54%、歳出は40%とそれぞれ減少しました。平成20年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、6億3,025万円の黒字となりました。

歳入決算の特徴

歳入については、国の三位一体改革による所得税から市民税への税源移譲に伴い、所得譲与税が廃止され地方譲与税が減額となりました。その他、地方交付税も減額となりました。一方、税源移譲、税制改正などにより市民税が増加しました。

歳出決算の特徴

歳出については、消防署東分署建設事業や新鹿沼駅西土地地区画整理事業などの建設事業により、消防費、土木費が増加しました。一方で、堆肥化センター建設事業やかぬま・あわの振興基金積立の完了により農林水産業費、総務費が減少しました。

市の借金と預貯金の残高の推移

左記のグラフは、鹿沼市の過去10年間の地方債（一般会計・特別会計・水道事業会計を含めた借金）と財政調整基金（預貯金）の残高の推移です。安定した市民サービスを行うため、市民負担の平準化を図りながら市の借金を減らすよう努めています。財政調整基金は、財源に不足が生じた場合取り崩すもので、主に教育・福祉・都市整備等に充当するために取り崩しています。

鹿沼市のバランスシート (平成20年3月31日現在)

市の財政状況を市民のみなさんに知っていただくため、平成19年度決算に基づいてバランスシートを作成しました。バランスシートは、市にどのような財産があり、どれくらい負債があるのかを一覧表にしたものです。これにより、単年度収支での決算報告では把握できない部分を明らかにすることができます。

貸 方	借 方
【資産の部】	【負債の部】
1. 有形固定資産	1. 固定負債
(1) 総務費 <u>55億3,690万円</u>	(1) 地方債 <u>279億3,064万円</u>
(2) 民生費 <u>35億4,623万円</u>	(2) 債務負担行為
(3) 衛生費 <u>79億1,702万円</u>	①物件の購入等 <u>9億 606万円</u>
(4) 労働費 <u>6,300万円</u>	②債務保証 <u>0円</u>
(5) 農林水産業費 <u>92億3,695万円</u>	又は損失補償
(6) 商工費 <u>14億3,402万円</u>	債務負担行為計 <u>9億 606万円</u>
(7) 土木費 <u>686億5,986万円</u>	(3) 退職給与引当金 <u>95億7,455万円</u>
(8) 消防費 <u>19億2,370万円</u>	固定負債 計 <u>384億1,125万円</u>
(9) 教育費 <u>450億3,104万円</u>	
(10) その他 <u>4億1,846万円</u>	
計 <u>1,437億6,718万円</u>	
(うち土地 <u>340億5,781万円</u>)	
有形固定資産 計 <u>1,437億6,718万円</u>	
2. 投資等	2. 流動負債
(1) 投資及び出資金 <u>2億4,239万円</u>	(1) 翌年度償還予定額 <u>34億1,568万円</u>
(2) 貸付金 <u>2億7,306万円</u>	(2) 翌年度繰上充用金 <u>0円</u>
(3) 基金	流動負債 計 <u>34億1,568万円</u>
①特定目的基金 <u>41億5,084万円</u>	
②土地開発基金 <u>15億4,359万円</u>	
③定額運用基金 <u>207万円</u>	
基金計 <u>56億9,650万円</u>	
投資等 計 <u>62億1,195万円</u>	負債合計 <u>418億2,693万円</u>
3. 流動資産	【正味資産の部】
(1) 現金・預金	1. 国庫支出金 <u>195億 316万円</u>
①財政調整基金 <u>8億9,394万円</u>	2. 都道府県支出金 <u>97億7,077万円</u>
②減債基金 <u>3億 744万円</u>	3. 一般財源等 <u>827億3,267万円</u>
③歳計現金 <u>8億8,010万円</u>	
現金・預金計 <u>20億8,148万円</u>	正味資産合計 <u>1,120億 660万円</u>
(2) 未収金	負債・正味資産合計 <u>1,538億3,353万円</u>
①地方税 <u>16億5,525万円</u>	
②その他 <u>1億1,767万円</u>	
未収金計 <u>17億7,292万円</u>	
流動資産 計 <u>38億5,440万円</u>	
資産合計 <u>1,538億3,353万円</u>	

一用語の説明・注釈一

【資産の部】

- 有形固定資産 昭和44年度から平成19年度までの社会資本整備費の残存価格を目的別に集計したもの
- 投資等
 - 投資及び出資金 平成19年度末残高
 - 貸付金 平成19年度末貸付残高
 - 基金 財政調整基金・減債基金を除いた基金の平成19年度末現在高
- 流動資産
 - 現金・預金 基金は平成19年度末残高
歳計現金は平成19年度の形式収支
 - 未収金 平成19年度の収入未済額

【負債の部】

- 固定負債
 - 地方債 平成19年度末現在高から平成20年度元金償還予定額を控除したもの
 - 債務負担行為 物件の購入等はPFI事業等に係るものを計上
債務保証等は履行すべき額が確定したもの
 - 退職給与引当金 平成19年度末に全職員が普通退職した場合の退職手当総額
- 流動負債
 - 翌年度償還予定額 平成20年度の地方債元金償還予定額
 - 翌年度繰上充用金 平成19年度決算での繰上充用額

【正味資産の部】

2. 国県支出金 昭和44年度から平成19年度までの社会資本整備費に係る国県支出金の残存額
- 一般財源 資産合計－負債合計－国県支出金